

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ビジネスソリューション応用－地域産業活性化演習		
ナンバリングコード	E30207	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049751	クラス名	-
担当教員名	小久保 雄介、阿部 裕香里、山内 勝義		
履修上の注意、 履修条件	この授業はチームで活動を行います。したがって、遅刻・欠席はチームのメンバーに迷惑をかけるので謹んでください。他人と協調できない方は適しません。チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り一丸となってプロジェクトを楽しみながら進め学生らしい企画を行うこと。自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動すようにしてください。なお、他学部・他学科の学生の受講も可とします。履修者が多い場合、教育効果の観点から履修人数の制限を行います。 また、授業外で佐伯で		
教科書	授業内で資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	毎週授業内で担当が提示します。		
関連科目	経営学入門、マーケティング論、流通経営論、商品開発学、広告論、ブランド学、ビジネスソリューション基礎		

○基本情報		
授業の目的	本授業の目的はクライアントの抱える問題を解決することです。 問題解決の中で様々な力を身につけて、実践できるようにすることをゴールとします。 (一例を示します) ・チームで協働すること ・ヒアリング(インタビュー)の方法を知ること ・問題解決の方針を見つけること ・問題解決のツールを知り、扱えるようになること などなどこの授業を通じて様々なことを吸収してください。	
授業の概要	授業は大きく2つのパートに分かれています。 ①講義パート PBLに必要な知識や手法を講義します。②実習パート 講義パートで学習したことで実践を行います。 また、授業時間外でもチームのメンバーで連絡を取り合って作業を行ってもらうことも進捗によってはあります。 【全員で授業時間外に学外で活動する日程】 ・10月15日 佐伯市蒲江近辺にて現地調査 ・11月12日～13日 1泊2日の合宿にて演習(@湯布院研修所) ・12月3日 佐伯市にて事業者に中間発表 ・1月28日 佐伯市にて最終発表会	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	山内 勝義(やまのうち かつよし) 1983年より2015年まで広告会社の電通に勤務し、広告主に向き合う最前線にて、チームリーダー(プロデューサー)として大手広告主のコミュニケーション戦略の策定・実施に携わって来ました。また、広報作業や危機管理作業、不祥事対応の実務経験も豊富です。 老親の介護のために電通を早期退職後、日本の典型的な中小企業に5年間に亘って勤務し、東証1部上場企業と中小オーナー企業双方の働き方の違いも実体験しており、本授業に豊富な実務経験を活かします。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	PBL型授業に主体的に取り組むことができる。		10点	10点
【知識・理解】	問題解決の手法について理解し、実践することができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	活動の様子、結果をわかりやすくプレゼンテーションができる。		10点	15点
【思考・判断・創造】	問題を把握し、適切な方法で解決策を導出することができる。		10点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

関心意欲態度について…チームとしての毎回の進捗状況、個人の活動の様子(今日のMVP)、毎週のコメントペーパーで評価を行います。
知識・理解…実践活動中の作業を提出されたもので判断します。
技能・表現・コミュニケーション…授業の中で行われるプレゼンテーション・資料をもとに評価を行います。
なお、プレゼンテーションの評価はクライアント40%、教員40%、受講生20%のウエイトとします。
思考・判断・創造…最終的な提案・最終プレゼンテーションで評価を行います。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

※この授業は教育効果の観点から総履修人数を限定しますが、他学部・他学科の学生の受講も歓迎します。
履修登録者が多い場合は抽選にて履修可能な学生を選抜し、掲示を行います。

授業の概要欄に記載した通り、全員で授業時間外に学外で活動する日程があります。
時間は拘束されますが、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り、一丸となって愉しみながらプロジェクトを遂行することによって、自分で考え抜くチカラを身に付けて欲しいと思っています。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	ビジネスソリューション応用－地域産業活性化演習	授業コード	E049751
	担当教員	小久保 雄介、阿部 裕香里、山内 勝義		
学修内容				
1. イントロダクション(山内)				
授業についての説明を行う。授業を受けるメンバーの自己紹介などチームビルディングを行った後、PBL授業を受けるにあたっての心構え、今回対象となるクライアントについての概要、想いなどを解説する。				
予習	自己紹介シートを作成する			(約1.0h)
復習	今PBLの対象となるクライアントについて各自調査をすすめる。			(約2.0h)
2. ヒアリングの事前練習(小久保)				
講義パート: インタビューをどのようにして行うかについて学習する。				
実践パート: クライアントについての情報を共有し、ヒアリング内容を確定する				
予習	1回の復習を引き続き行う			(約1.0h)
復習	共有した情報をもとに更にヒアリング内容を詰める。			(約2.0h)
3. クライアントへのヒアリング(山内)				
実践パート: クライアントからの説明を受けた後、事前に用意した内容をヒアリングする。				
予習				(約1.0h)
復習	ヒアリング内容をまとめる			(約2.0h)
4. ヒアリングのまとめ(小久保)				
講義パート: ヒアリング内容のまとめ方であるKJ法について学習を行う。				
実践パート: 自分たちでヒアリングした内容をKJ法にてまとめる。				
予習	ヒアリング内容を箇条書きでまとめる。			(約.5h)
復習	ヒアリング内容のまとめからどのようなことがわかったかをまとめる。			(約2.0h)
5. 問題の抽出・解決の方向性を探る(小久保)				
実践パート: 前回作成したKJ法から、現状の問題点などを発見する。また、問題点をどのように解決するか？現状行っていることなどを調べる。				
予習	作成したKJ法のシートから自分なりに問題点を探す。			(約.5h)
復習	授業で発見した問題点について、他社はどのようなことをしているか調べる。			(約2.0h)
6. 問題解決のためのフレームワーク その1(小久保)				
講義パート: 問題点をどのように解決するかについての手法について学習する。				
実践パート: 講義パートを受けて実際に問題をどのように解決するかを考える。				
予習	関連図法、親和図法について調べる。			(約1.0h)
復習	実践パートでやり残したことをすすめる。			(約3.0h)
7. 問題解決のためのフレームワーク その2(小久保)				
講義パート: 問題解決の方法について仮説をどのように大量に抽出し、検証するかについてのかんたんな講義を行う。				
実践パート: 問題解決の方法についての仮説を抽出する				
予習	問題点をどのように解決するかの方法を考える			(約2.0h)
復習	実践パートで抽出された仮説についてまとめを行う。			(約3.0h)
8. 中間発表に向けての準備(阿部)				
講義パート: プレゼンテーションの方法について学習する。				
実践パート: 中間発表に向けてのプレゼンテーションの準備を行う。				
予習	ここまでの活動内容をまとめる			(約1.0h)
復習	プレゼンテーションの作成、準備			(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	ビジネスソリューション応用－地域産業活性化演習	授業コード	E049751
	担当教員	小久保 雄介、阿部 裕香里、山内 勝義		
学修内容				
9. 中間発表(全担当)				
実践パート: 対象となるクライアントに向けてここまでの実践内容を報告する。				
予習	プレゼンテーションの準備を行う。			(約2.0h)
復習	発表のときに頂いたコメントをもとに軌道調整のプランを考える。			(約2.0h)
10. 課題解決のための実践演習 その1(課題内容に応じて)				
実践パート: 前回の発表で頂いたコメントをもとに具体的な問題解決策を考える。				
また、必要に応じて追加の講義パートを実施する予定である。				
予習				(約2.0h)
復習				(約2.0h)
11. 課題解決のための実践演習 その2(課題内容に応じて)				
講義パート(予定): 様々な問題解決の仮説に対してどのように検証を行うかについてアンケートの作成方法と分析の仕方について学習する。				
実践パート: 仮説検証を行うためのアンケート作成を行う				
予習	ここまででわかったことをもとに、アンケートの質問項目を考える。			(約.5h)
復習	アンケートの作成→実施を行う。			(約2.0h)
12. 課題解決のための実践演習 その3(課題内容に応じて)				
講義パート: アンケートの実施後、どのように分析を行うかについて学習する。				
実践パート: アンケートデータの入力と実際に分析を行う。				
予習	アンケートの回収を行う。			(約.5h)
復習	分析から得られたことをまとめておく。			(約3.0h)
13. 課題解決のための実践演習 その4(課題内容に応じて)				
実践パート: アンケートから得られたことをもとに最終的な解決策を考える。				
予習	ここまでの実践内容を復習しておく。			(約1.0h)
復習	最終的な解決策を論理的に具体化する。			(約3.0h)
14. 最終発表会に向けて(阿部)				
実践パート: 最終発表会に向けてのプレゼンテーションの準備を行う。				
予習	プレゼンテーションの案を考える。			(約3.0h)
復習	プレゼンテーションの準備を行う。			(約3.0h)
15. 最終発表会(全担当)				
クライアントに向けての最終提案をプレゼンする。				
予習	最終発表会に向けてのプレゼンの練習を行う			(約2.0h)
復習	最終発表会を経てフィードバックを受けた部分を修正する。			(約1.0h)
16.				
予習				
復習				